

# さとしゅう

議会だより

No.112

2023.4.30



岡山県 里庄町議会



放課後等デイサービス「ぽかぽか」落成

- 令和5年度 当初予算…………… (2)
- 総括質疑(当初予算に対して)…………… (4)
- 補正予算…………… (6)
- 町政を問う！(5人が登壇)…………… (10)
- シリーズ こんな活動をしています(文化協会 川柳部)…………… (16)

# 賛成多数で可決

賛成8：反対1

## 令和5年度

### 歳入

◆内訳 (主な内容)

費目	金額	割合(%)
町税	14億586万円	26.5
地方交付税	13億6420万円	25.7
国庫支出金	6億548万円	11.4
県支出金	3億3206万円	6.2
寄付金(ふるさとづくり)	3億円	5.6
繰入金	3億5356万円	6.6
町債	2億7567万円	5.2

### 歳出

◆内訳 (主な内容)

費目	金額	割合(%)
民生費	16億7015万円	31.5
総務費	7億9249万円	14.9
土木費(下水道費を含む)	7億1992万円	13.6
教育費	6億3899万円	12.0
消防費	2億8960万円	5.5
農林水産業費	2億4659万円	4.6
公債費	3億8821万円	7.3

## 令和5年度 里庄町の各会計予算

会計名	金額
一般会計	52億9200万円
国民健康保険特別会計	10億6154万円
介護老人保健施設特別会計	3000万円
介護保険特別会計	12億4989万円
後期高齢者医療特別会計	1億8890万円
育英奨学資金給与特別会計	25万円
町営墓地特別会計	620万円
水道事業会計	4億1900万円
公共下水道事業会計	9億4670万円

副町長の選任  
里庄町里見

赤木 功氏

人事

3月

# 定例会

令和5年第2回定例会は3月3日から17日までの会期で行われました。議案は、条例の制定3件、一部改正2件、令和4年度補正予算6件、令和5年度当初予算9件、令和5年度一般会計補正予算1件、人事案件1件、議員発議1件が上程され、すべて、原案通り可決・同意されました。

補正予算及び令和5年度予算については、予算決算委員会に付託され、審査を行いました。

なお、一般質問には5人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。



# 一般会計歳出

令和5年度  
予算

# 52億9199万円

令和4年度一般会計補正予算合計1億3700万円、  
令和5年度一般会計補正予算 7677万円は全会一致で可決



久しぶりの花見会(大西シニアクラブ)

## 令和5年度 主な事業

● 町駐車場整備(役場南)	6710万円	● 児童発達支援事業	1億4万円
● ふるさと納税事業	1億5900万円	● 予防接種事業(風しん・その他ワクチン)	4599万円
● 国民健康保険繰出金	6308万円	● 母子保健事業 (カリオスタート検査・妊婦一般健康診査等)	1404万円
● 障害福祉事業 扶助費	2億8644万円	● 出産・子育て応援給付金 (妊娠届・出生届時 各5万円給付)	865万円
● 社会福祉団体補助事業 (社会福祉協議会・シルバー人材センター等)	5116万円	● 廃棄物収集委託料	6376万円
● 後期高齢者医療療養給付費負担金	1億2378万円	● 水路等改修工事費	1億3850万円
● 高齢者タクシー料金助成事業 (運転免許証を持たない75歳以上の高齢者対象)	922万円	● 道路新設改良事業	1億9780万円
● 子育て世帯タクシー料金助成事業 (妊産婦および4歳未満が対象)	509万円	● 笠岡地区消防組合負担金	2億4368万円
● 児童福祉事業(小児医療費扶助)	6200万円	● 公共下水道整備事業	2億7478万円
● 児童手当	1億8582万円	● 科学振興仁科財団補助金	2317万円
● 保育園施設給付事業	3億6144万円	● 仁科会館施設改修工事(外壁改修)	2000万円

3月定例会

# 質 疑

総括質疑は3人が行い、予算決算委員会に付託されました。

## 当初予算

### 予算編成の考えは

**佐藤議員** 住民に寄り添った予算編成ということについて、どのように考えたか。

的に受診を促し、予防して貰う必要がある。障がい者の福祉にも力を入れる。

**町長** 住民生活に密着した事業が一番大切。災害に強いまちづくりを進めていく必要がある。自主防災組織の設立を促進し、支援していききたい。

障がい児の放課後等デイサービスを行うと共に、行政と社会福祉協議会が一体的に取り組んでいく。高齢者タクシー料金助成の条件を緩和するので、外出機会を増やしてもらいたい。

高齢者の健康づくりでは、いかに健康寿命を延ばしていくかが喫緊の課題である。

妊産婦、子育て世代にも、タクシーを活用して欲しい。通学路の安全確保、道

路の拡幅等に取り組む。文化活動等の支援をし、日常生活に張り合いと潤いを生んで欲しい。学校教育、社会教育は、総合教育会議と教育委員会が連携して、子ども達が学力を伸ばし、生きる力を育んでいけるように取り組む。

生活基盤の整備は、幹線道路716号線(229号線の延伸)を積極的に進める。下水道事業や生活道路整備は、計画的に進めていく。子育てしやすい町を目指し、待機児童の解消をしたいが、保育士の確保が難しい状況。保育所の現状把握と課題解決に向けて取り組む。

**佐藤議員** 待機児童解消に向けて9月の補正での60万円。その結果は。当初予算の25万円は何に使うのか。

る考えである。

**佐藤議員** イノシシ対策に使っていくこともこれからは考えていく必要があると思うが。

**副町長** 年度途中での採用は無かったが、保育士の繋ぎ止めには効果があった。

**佐藤議員** 森林環境譲与税を使ってイノシシ対策は、できないのか。

**農林建設課参事** 森づくり県民税で対応する。

令和5年度の予算については、1年後に10万円、2年後に5万円、3年後に5万円の支給を考えている。

**農林建設課参事** 法律で、使途が明記されている。イノシシ対策には充てられない。

**佐藤議員** 光熱費の上がる率に、各課で大きな差があるのはなぜか。

**眞野議員** ICT関係機器を活用したデジタル採点システムの導入は、どのようなシステムなのか。

**眞野議員** 防災重点農業用ため池のハザードマップの作成は、どこまで出ているのか。

**総務課長** 使用実績で確認をしながら予算を組んだ。各課の今までの使い方によって差が出た。

**教委事務局長** 生徒の答案用紙をパソコンに取り込み採点、集計が自動的に行われる。導入の目的は、教職員の働き方改革のため。

**農林建設課長** 令和7年度までに、全てのため池についてハザードマップを作成する。

**佐藤議員** 森林環境譲与税を使い、ベンチ等を、つばき丘の公園・図書館前に設置するが、どういったものを設置するのか。

**眞野議員** 空き家バンクは、どのように進めているのか。

**眞野議員** 防災マップの洪水浸水想定区域として、里見川以外の河川は、今後どうするのか。

**農林建設課参事** 日よけがついたベンチを設置する。

**総務課長** 岡山県空き家情報流通システムを活用する。

**農林建設課長** 他の2級河川についても、県に要望していく。

### デジタル採点システムとは

**眞野議員** まち整備課を新設する理由は。

**総務課長** 駅のバリアフリー化事業・定住促進事業・空き家対策事業など、安心して住みやすい安全な生活環境を整えるため。

**眞野議員** 新型コロナウイルス感染症関連の事業は、国・県が行う事業を基本とし、町としては考えていないのか。

**副町長** ワクチン接種は5年度も実施する方針。接種以外の事業は、国の状況に応じて対応する。

**眞野議員** コロナ発生以前のような地域コミュニティになるための施策は考えているか。

**町長** まちづくりの原点は地域コミュニティにあるので、公民館等を積極的に開放し、活用してもらいたい。

## ふるさと納税の増加理由は

**仁科英議員** ふるさと納税が増えた理由と返礼品

出品者の町内外の割合は。

**企画商工課長** 寄附受付

サイトの充実、返礼品目を増やしたこと、町出身者が活躍し、町に興味を持つ人が増えたことと考える。

出品者の半分は町内事業者である。

**仁科英議員** なぜ今年は

3億円にし、半分の1億5000万円はどのように財源充当したのか。今後の見通しは。

**副町長** 決算書で確認できるが、総合計画に基づきそれぞれの項目に充当している。

**仁科英議員** 西部衛生事業で金山地区の道路・下水道事業のトータル見込み額はいくらか。

**仁科英議員** 西部衛生事業で金山地区の道路・下水道事業のトータル見込み額はいくらか。

**町民課長** 総額は今は資料がない。

**仁科英議員** 職員を増や

しても事業を膨らませてやるべきと思うがどうか。

**町民課長** さらに事業を増やすことは現実的に不可能と考える。

**町長** 今後の状況は分からないので、下水道事業も道路事業も計画的に進める必要がある。

**仁科英議員** 下水道整備

は、金利が上がる前に早くやるべきと思うが。

**町長** 計画的に進めていきたい。

**仁科英議員** 公共施設の

整備計画の内容と、全体の事業費は。  
**総務課長** 福祉会館、老人福祉センターの老朽化

に伴い、基本的な考え方を令和4年度に固める。時期は出来るだけ早くしたいが、基本設計、詳細設計、着工などステップはまだかなりある。

## 国民健康保険特別会計

### 軽減をもう一年続けては

**佐藤議員** 令和4年度は

均等割を5割軽減したが、令和5年度も続けた場合、基金はどうなるのか。

**町民課長** 基金残高は3億3000万円程度になる。

令和5年度で基金からの繰入金金は、約8000万円を見込んでおり、均等割を半額にすると、さらに2000万円程度は必要。

**佐藤議員** 今の制度をも

う一年続けていく必要があると思うが。

**町民課長** 令和4年度の実質単年度収支は、見込みでマイナス6000万円。世帯で3万円程度の赤字。この状況が続くと、基金はすぐ底をつき、急激に保険料を上げることになる。

基金の運営については慎重に考えていくべきものである。



# 補正

令和4年度補正予算6件および令和5年度補正予算1件は  
 予算決算委員会にて審査し、全て原案通り可決しました。

## 令和4年度一般会計

### 主な内容

#### ふるさと納税事業

6100万円

ふるさとづくり寄附金が、さらに1億2千万円増額となり、返礼事務等の金額不足に対応。  
 今年度4億2千万円の寄附金を受領している。

#### 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業

4396万円

接種対象者が予定より少なかったため、負担金・補助金を国に返還するもの。

#### 障害福祉事業

972万円

人工透析等公費負担、療養介護の利用者増に伴う介護給付費増に対応。

## 令和5年度一般会計

#### 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業

7677万円

（重症化リスクの高い人）令和5年度内で2回接種。  
 まず5～8月にかけて

#### 令和4年度里庄町介護保険特別会計

1708万円

居宅・地域密着型各介護サービスに於いて利用実績に基づき給付費の負担額が増加となる。

（全ての年齢の人を対象）9～12月にかけて接種。（子ども・乳幼児）接種期間を延長して実施。

## 町条例

### 制定

里庄町個人情報の保護に関する法律施行条例

個人情報取扱事務、開示、不開示等に関係する事項を定めるものです。これに伴い、「里庄町個人情報保護条例」は廃止となります。

里庄町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例

町職員を、公益的法人等に派遣することが出来るようにするための、条例制定です。

里庄町道路及び普通河川等管理条例

道路法・河川法が適用されない、町の管理する道路・河川の管理や使用について、定めたものが無かったため、制定されました。

里庄町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例

国における職員の定年が引き上げられること等に鑑み、町職員の定年等について国家公務員に準じた措置を講ずるとともに、地方公務員法の一部改正により、管理監督職員の勤務上限年齢に係る制度が創設されることに伴い、所要の改正を行うものです。

### 一部改正

里庄町国民健康保険条例  
 出産育児一時金の金額42万円を、50万円に増額改正されます。

# 質疑

## 里庄町個人情報保護に関する法律施行条例

### 今迄どおりの内容か

**仁科英議員** 開示義務で、文言は変わっているが、準則があるのか、町でつくったのか。  
**総務課長** 全国的なもの。で町独自のものは無い。

**仁科英議員** 表現は変わっているけれども、今までどおりの内容と思つてよいのか。  
**総務課長** 基本的には言われる通り。



桜の間から望む庁舎

## 里庄町道路及び普通河川等管理条例

### 交付税対象から外れるか

**仁科英議員** 占用を里庄町でしているものはどの程度あるのか。  
**農林建設課長** 総数は今のところ分からない。

**農林建設課長** 1・5メートル未満は、元々対象でない。必要な所は道路として残す予定なので影響はない。

**仁科英議員** 道路法の認定から外れるものはどの程度あるのか。  
**農林建設課長** 1・5メートル未満の道路というのは、数多くある。

**仁科英議員** 下水道引込みの場合、その部分について占有許可の手続を書面で行っているか。  
**農林建設課長** 全て、上下水道課経由で建設課へ出ている。

**仁科英議員** 占有許可を今後取るとすれば、事務量はどの程度か。  
**農林建設課長** 一路線ごとの整理が必要になり、ものすごい業務量になる。

**仁科英議員** 占有料減免の規定で、里庄町の運用方針は。  
**農林建設課長** 一般住宅の建築で、生活上必要な施設の占有料は取っていない。電柱や電線等が占有料の対象となる。

**眞野議員** 工事の承認は、河川そのもので、周りのことは想定してないと理解したらよいのか。  
**農林建設課長** 接した場合は届け出が必要。いくらかでも空いていれば、出す必要はない。ただし、水路等の公共物に影響がある場合は、出して貰う必要がある。

**農林建設課長** 公共物の機能または構造等に支障を及ぼすおそれのある場合は、相談に来てもらう。  
**眞野議員** 個人の判断に委ねるような条例はよくない。明確な対応ができるのか。  
**農林建設課長** 具体的には定めていない。他の市町村では、規則で様式等を定めているので、今後検討する。

### 明確な対応ができるか

## 3月補正の結果

会計名	補正後の金額 (補正額)
一般会計(第9号)	59億8572万円 (1億3700万円)
国民健康保険特別	10億8270万円 (8万円)
介護保険特別	12億4233万円 (1708万円)
後期高齢者医療	1億8525万円 (6万円)
町営墓地	500万円 (22万円)

常任委員会報告

予算決算委員会

令和4年度里庄町一般会計補正予算

3月9日、10日、13日及び14日の4日間にわたり関係当局の出席を求め、説明を聴取しながら、慎重に審査を行いました。

令和4年度里庄町一般会計補正予算では、図書館東職員駐車場整備工事費や東公民館の設計監理委託料、子宮頸がんワクチン接種について質問がありました。

本委員会における採決状況は、補正予算全議案全会一致で原案を可決しました。

令和5年度里庄町国民健康保険特別会計予算では、令和4年度に実施した国保税の均等割の5割下げを令和5年度も引き続き実施してはどうか。令和5年度里庄町介護保険特別会計予算について、高齢者の経済的な負担軽減を考慮してもらいたいという意見がありました。

本委員会における採決状況は、令和5年度里庄町国民健康保険特別会計予算は、賛成多数で原案を可決しました。

他8議案については、全会一致で原案を可決しました。

令和5年度里庄町一般会計予算

3月17日、関係当局の出席を求めて、説明を聴取しながら慎重に審査を行いました。

山陽高校記念事業補助金や学校の給食費、教育振興一般経費の扶助費、高齢者タクシー料金補助事業について質問がありました。

本委員会における採決状況は、令和5年度里庄町一般会計予算について、賛成多数で原案を可決しました。



初めての下校(里庄西小学校)

ここが反対!

無償化すべき

佐藤耕三議員

学校給食を無償化にすべき  
 コロナ以前よりも、現在無償化している自治体が増えている。  
 里庄町では無償化どころか保護者負担が増えている。  
 さらに保護者に負担を求めることには認められない。

ここが反対!

軽減は続けるべき

佐藤耕三議員

国民健康保険税の均等割の5割軽減は、基金を崩しても続けるべき。  
 収入が減る中で物価高騰し町民の人は厳しい生活を強いられている。  
 本当に元に戻す必要があるのか。  
 今はその時期ではない。

議員発議

里庄町議会の個人情報保護に関する条例の制定

〈趣旨〉

里庄町議会における個人情報の適正な取扱いを定めるため制定します。  
 全会一致で可決されました。

里庄町議会議員 小野光章 外8名



賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名	議員名	平野	高田	小野	眞野	仁科	小野	仁科	佐藤	藤井	議決結果
		敏弘	卓司	光三	博文	英麿	光章	千鶴子	耕三	典幸	
議案第2号	里庄町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第3号	里庄町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第4号	里庄町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第5号	里庄町国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第6号	里庄町道路及び普通河川等管理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第7号	令和4年度里庄町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第8号	令和4年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第9号	令和4年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第10号	令和4年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第11号	令和4年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第12号	令和4年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第14号	令和5年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	可決
議案第15号	令和5年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第16号	令和5年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第17号	令和5年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第18号	令和5年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第19号	令和5年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第20号	令和5年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第21号	令和5年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第22号	令和5年度里庄町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議案第23号	令和5年度里庄町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	可決
議案第24号	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	同意
発議第1号	里庄町議会の個人情報の保護に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決

定例会

3月

注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

里庄町議会議員選挙

選挙結果



任期満了にともなう里庄町議会議員選挙は4月23日(日)に投票が行われました。結果は次のとおりです。

当選	仁科千鶴子氏	756.756票
当選	岡本 貴之氏	544票
当選	岡村咲津紀氏	533票
当選	平野 敏弘氏	467票
当選	難波 啓祐氏	391票
当選	佐藤 耕三氏	383票
当選	小野 光章氏	371票
当選	眞野 博文氏	344票
当選	仁科 英麿氏	341.243票
当選	田辺 博樹氏	278票
次点	藤井 典幸氏	273票
	西室 晶敏氏	32票

3月定例会

# 一般質問

# 町政を問う

## 4人の議員が登壇して質問!

**仁科 英磨 議員**.....11P

- ① イノシシ駆除の抜本的強化(2回目)
- ② 新ごみ焼却施設建設事業(8回目)

**高田 卓司 議員**.....12P

- ① 戸別受信機のその後

**平野 敏弘 議員**.....13P

- ① 令和5年度予算
- ② 町道229号線の工事
- ③ 新しい課は

**佐藤 耕三 議員**.....14P

- ① 弱者にやさしい道路整備を
- ② ヘルメット着用努力義務

**仁科 千鶴子 議員**.....15P

- ① 公共施設の駐車場のあり方は
- ② タブレットの活用状況は

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

議会会議録は里庄町のホームページからご覧になれます  
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/satosho/pg/index.html>



仁科 英磨 議員



# くくりわな設置場所には看板を

農林建設課参事 / 研究したい

**問**

町内で今出没しているイノシシの頭数、広がり状況は、  
農林建設課 捕獲頭数は、令和3年112頭、4年126頭で、殿迫や東平井、安広など、出沒エリアも広がっている。

**問**

今や、単に農業政策というより、住民の安全・安心に係る極めて重要な問題だ。

**町長**

100%公費をもって対策に当たるべきでは。100%公費は考えてない。

**問**

農地をきちっと管理していても出ることが分かってきた。自然との戦いであり、行政が旗を振るべきだ。効果があれば、補助支援はしたい。

**問**

専門業者への委託はできないと、なぜ言うのか。県内で鳥獣捕獲等事業者の認定を受けて活動しているのは、岡山県猟友会のみ。他に幅広く活動している事業者はないので、委託は困難。

**町長**

法的な根拠はなく、町の判断になるが、今の猟友会の活動がベストと考えている。

**問**

法的にできるのなら、一刻も早く積極的に検討願いたい。捕獲補助金の増額、手数料等の全額補助は、  
農林建設課 考えていない。

**問**

くくりわな設置の安全対策について、地権者の承諾は適切に対応しているものと認識。

**問**

町が依頼したところは、町にも責任がある。きちつと了解を取るようにはしていただきたい。周辺への周知は、どうなっているか。

**町長**

猟友会の方が、基準を満たした標識を設置している。

**問**

その標識には、くくりわなが仕掛けられているとは書いていない。しかも、小さくて、気付きにくい。看板を立てるべきだ。研究したい。

**問**

防護柵の補助拡充は、  
農林建設課 資材の単価見直し等を検討する。

## 次の場所、今から協議を

町長 / ご意見として賜わる

**問**

新ごみ焼却施設の総事業費は、建設費146億円(別に運営費88億円)で、国費は43億円。

**問**

熱利用施設のその後の進展は。2月に、27.7億円に消費税を加えた額(運営費を含む)が、令和5年度〜27年度間の債務負担行為として議決されている。

**問**

前回の建て替えの時、当時の町長が、次は他のところに持つていくと地元で約束したと聞くが、事実か。

**町民**

文書が残ったものがない。

**問**

いずれにしても、特定の地域ばかりに汚染による健康影響

**問**

の懸念をもたらしていることは、厳然たる事実。危険負担の公平化から考えて、次回は他の市町に受けてもらうべき。今から協議を進めては。

**町長**

負担の公平化は常に念頭にある。地域バランスを考慮した上で判断していくべき。ご意見として賜わる。

**問**

分別の一層の細分化や、バイオマス化の研究も必要。

**町民**

分別の細分化は、収集体制、焼却場等、総合的に制度設計していく必要がある。バイオマス化等も、技術的、科学的、総合的に研究、検討、判断して進めたい。



# 3000万円もの

## 無駄遣いをどう思うか

町長／手順は踏んでくる



高田 卓司 議員

過去の経験をもとに、災害時町民に早急に連絡できるよう各家庭のテレビに戸別受信機の設置、そして個人のスマートフォンにも連絡ができるようにやってきた。

**問** 当初の予定は各家庭約4000戸程であったが、予算はいくらであったか。

**総務課長** 災害情報伝達整備事業では戸別受信機の設置、スマホアプリの導入及び分館放送を役場から発信の3つの事業を同時に進めてきた。

町内に住民票を置く世帯4600戸に1台設置の方針を進めてきた。予算は2億9975万円。

**問** 当初4600戸に対して2億9000万円の予算で始めて、戸別受信機の設置は各年度いくらだったか。

**総務課長** 令和2年度は1650件、令和3年度が585件、令和4年度は21件だった。

**問** ということは2200戸位ということである。

1戸当たりの設置費用と、不要になった受信機の業者に返品した数と、何台残っているのか。

**総務課長** ゆめネット光テレビに加入している個人住宅の場合設置費用は税込み1万3200円で、1500台返品

した。笠岡放送に800台、そのほか40台在庫がある。

**問** 840台ある在庫の受信機もほとんど不要になると思われるがどう考えている。

**町長** 返品をし、さらに在庫を抱えていることについては非常に残念だと思いい責任を痛感している。

1台ずつ導入をしていただき、啓発を続けていきながら災害に強いまちづくりを進めていきたい。

**問** 当初の判断の誤りによってお金を払いながら、2000台近く返品をし3000

万円もの税金の無駄遣いをしている。どう考えるか。

**町長** 当初の見込みが甘かったということとは最終的には私の責任と感じている。行政の責任として情報をどのように提供し、その情報をどうやって取るか住民も理解してほしい。

戸別受信機が全世帯に設置すれば二重、三重の情報の手手段ができるという考えで整備を進めてきた。

**問** 以前職員が出しではいけない情報を外部に漏らして問題が起きたことがある。その対策費として500万

円位、出費したことがある。

その時町長は監督責任は私にあるとして減給した。今回は3000万円近い税金の無駄遣いだ。

町長はどう考えているか。

**町長** この事業について整備をこのように進めたい、こういう台数を導入したいということは議員に説明したと考えている。

**問** このシステムを整備したいという説明はあったが戸別受信機を4600台買うという説明は私は聞いていない。

聞いていたら必ず意見が出ているはずである。今からでも責任を取ってはどうか。

**総務課長** この事業については何でも成功させないといけないという事で議員にも逐次説明をしてきた。こういった仕組みで全

戸につけていく話は数回している。

議員にも我々は最低限の説明はしてきたという認識である。

**問** 台数について、言った、言わないは水掛け論になる。

町民は要らないものを買って1500台返品をしたという内容を分っていない。

それに対して何も考えない、知らぬ存ぜぬじゃないか、知らぬ存ぜぬというのではない。

**町長** 知らぬ存ぜぬというのではないけれど、里庄町の今後の安心・安全のまちづくりを進めるために、一番効果が出ることを原点到めてきた。

見込みが大きすぎるという意見はあまり出てこなかったと感じている。議会で議決をし進めてきた。手順はきちんと踏んできたと感じている。

平野 敏弘 議員



# 基金の今後の見通しは

町長／将来の事業を折り込み管理を厳密に行う

**問** 令和5年度の予算編成は、

**町長** 事業費の抑制や歳入確保により、財政状況は改善傾向にある。

今後は、職員数の増加や昇級等による人件費の増加。子育て、高齢者、障害者等の福祉関係の補助費や扶助費の増加。新ごみ焼却場建設事業の負担金や里見排水機場の改修や里庄駅バリアフリー化などの投資的経費の増加を見込んでいる。

**問** 今年度は基金をどれぐらい取り崩すのか。

**町長** 基金全体繰入額は、合計で3億5125万円。

**問** 今後の基金の見通しは。

**町長** 収支のバランスを確保し、社会情勢や経済情勢の状況の変化、災害など緊急的な対応に備えるため、将来

の事業を織り込みながら、基金の管理を厳密に行っていく。

**問** ふるさと納税の見込額は、当初予算で3億円。

**企画商工課長**

## 横断する歩行者の安全確保は

農林建設課長／各地区で説明会を行う

**問** 町道229号線に信号機を設置する場合、交通量等で時間を設定すべきだと思いが。

**農林建設課長** 信号機の時間調整や大型車の進入規制等の対応を警察に相談している。

**問** 今の信号を横断する歩行者の安全確保は。

**農林建設課長** 南側に信号を移設した場合、十字路の安全が確保出来るのか、検討していく。

**問** 周辺の分館住民や通学する児童や生徒への説明は。

**農林建設課長** 各地区で説明会を行う。

**問** 浜中バイパスが開通し、229号線から県道園井線へ道路がつながった。

**農林建設課長** 229号線は、町に移管されるが、今後どのようにしていくのか。県から、どういう形で譲り受けるか協議中。

## 新しい課の内容は

町長／駅のバリアフリー化等  
空き家対策

**問** 新しい課の内容は。

**町長** 今回の課は、駅のバリアフリー化、空き家対策、定住促進、今後の里庄町の重要なまちづくりを推進していく重要な課である。

**問** 機構改革での費用は。

システム改修費、封筒の印刷代や課名の看板の変更費用等で、総額約70万円前後の費用。

**問** 参事を増やすと財政が圧迫される。

**総務課長** 参事の増員は業務内容の多様化等に伴う業務体制の最適化を図るため。

**問** 新しい課はバリアフリー化が済めば、なくなるのか。

**総務課長** 大規模なプロジェクトであり、数年で完結できる事業ではない。他の業務として定住促進、空き家対策など重要な事業を進める。

**問** 課長待遇である参事の役割とは。

**総務課長** 参事は課長同様にあらゆる状況変化を的確に捉え、自らの職責を自覚し、責任を持って調整や説明できる能力が必要。

# ヘルメット着用増やすには

企画商工課長／情報を提供し促進していきたい

**問**

4月からのヘルメットの着用義務はどの様な自転車でも全てが対象なのか。  
また、罰則はどのようなになっているのか。

**企画商工課長** どんな自転車でなくても全ての人に努力義務を徹底することが必要になるが、現在のところ罰則はない。

**問**

ヘルメット購入に対し補助すれば着用の意識も芽生え、購入しやすくなると考える。ヘルメットの購入に対し補助制度を設けてはどうか。

**企画商工課長** 現時点ではまだ努力義務。補助は考えていない。

**問**

どうすればヘルメットの着用は増えると考えるか。

**企画商工課長** まず広報紙等で改正内容を知ってもらおう。また、交通安全

全県民運動などの機会を利用し、各種団体と連携し、情報提供し、着用を促進していきたい。



自転車用ヘルメット

# 子ども目線での道路整備を

農林建設課長／グリーンライン設置を進めたい



佐藤 耕三 議員

**問**

河川、水路などの柵を設置したのか。  
4年度末の見込みで、18か所約438メートル設置した。

**問**

子どもの目線は大人に比べ低い。より恐怖感、圧迫感があるとと思う。子ども目線での道路整備が必要では。

**農林建設課長** 通学路にグリーンラインを設置するなどの安全対策を、今後も進めていきたい。

**問**

駅から国道を横切り千瓜へ行く交差点について、4年前の答弁では横断歩道の設置も検討した上で要望していきたいと答弁した。

**問**

どのように検討し、どのような要望をどこに行ったのか。  
令和元年度に歩道設置を玉島警察署に文書で要望した。

**農林建設課長** 緊急度の高い箇所から設置していくといった回答を得ている。

**問**

玉笠バイパスのアクセス道路、里見716号線には自転車の専用のレーンが必要と思うがどのようなになるのか。

**農林建設課長** 自転車通行レーンがあるほうが安全なのは分かる。今後自転車通行レーンを設置するためには広い買収も必要。

今後、新設道路を計画する際、自転車通行レーンが必要かどうか慎重に検討して計画していく。



整備されたグリーンライン



仁科千鶴子 議員



## 月極めには

総務課長／考えていない  
町長／自分で確保が原理原則

公共施設の駐車場はあくまでも公共の物であり、個人の物ではない。個人の長期駐車、長時間の駐車などは、公共の福祉及び利用に反すること。

**問** 駐車場の現状調査はしているのか。

**総務課長** 状況を確認して適切な対応、迷惑駐車車両の特定をして、文書等により注意、貼り紙等に対応している。

**問** 現在抱えている問題点と対処は。

**総務課長** 看板設置等については完全な状態ではなく、設置に向けて検討の必要性がある。

**教委事務局** 様々なケースがあるが、注意喚起と看板等設置が必要。

施設利用者のマナーの向上を促すよう努めたい。

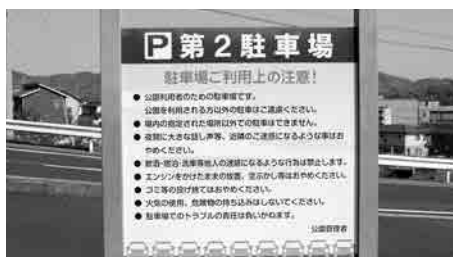
家族が増え駐車場が足りない、いろいろな理由があると思う。しかし、庭を潰して駐車場にした

り、近隣の駐車場を借りたりする人は不公平と感じる。

**問** 駐車場も1〜2台月極めにしては。

**総務課長** 貸し出すことは考えていない。

**町長** 自分で駐車場を確保することは原理原則。しっかりとお願いをして適正な管理をしていきたい。



駐車場看板

## タブレット活用の効果は

教委事務局長／多岐にわたり  
効果が出ている

**問** 学校でのタブレット活用から2年。取り扱いにトラブルはなかったのか。

**教委事務局** 保護者からの悩み、トラブルは。破損があり、予備を貸し出した。

**教委事務局** Wi-Fiが全くつながらないというトラブルはない。

視力低下・宿題以外に使わせたくない・持ち帰る時重いなど相談があった。

荷物が重いという件については、基本的には、宿題や自主学習に使用するものを中心として持ち帰るようにして、量を少なくしている。

**問** 教職員がICT活用の指導力不足になっていないのか。

**教委事務局** どのような使い方が適切か、現在試行錯誤しながら活用している。情報共有を行い、効果的な使い方の研修をしている。

**問** ICT活用教育アドバイザーが里庄にいるのか。

**教委事務局** ICT活用教育アドバイザーが採用をしている。

**問** タブレットの持ち帰り学習をしているのか。

**教委事務局** 小・中3校全ての学校で児童・生徒が毎日持ち帰っている。

**問** タブレット活用することで効果が学力に出たのか。

**教委事務局** 効果としては、学習すること自体に意欲的になっている。選択肢が広がり、一人一人に最適化された学習等多岐にわたり効果が出ている。

全国を上回るか同等程度。

もつと効果的な活用方法を研究していきたい。

**問** 使用ルールは、子どもに伝えているのか。

**教育長** 保護者・子ども宛てに、学習以外のことには使わない。パソコンを大事にする。健康面も含め必要最低限の文書を配布している。新学期には改訂版を作る。

**問** 今後のGIGAスクールの課題は。

**教委事務局** 研究や研修を進め、より効果的な使い方を工夫していきたい。

里庄町文化協会  
川柳部

文化協会川柳部は、歴史ある部と思えます。

私は、退職後、ボケ防止を兼ねて言葉遊びのため、入部しました。もうその頃からのメンバーは2名で、斜陽の部でした。

現在、部員5名でしたが、高齢の方が、足がなくなつて退部されますので4名での活動になり、風前の灯となりました。

活動は、第3金曜日、9時半から中央公民館1階図書室で行っております。各自三句ずつの投句をまとめたもの準備して、読み合わせをして互選して三句ずつ、自分の句を除いた中から選び得票数の多い句を決めます。その上で、最多得票者に短冊を差し上げています。兼題を決めておいて、作句しますが、自分なり

に感じたことをすなおにそのまま、ちょっとひねつてユーモラスに、意地悪く毒を吐いたり、私達だからその色気も入れて楽しい句を作ります。身近にある事柄を読み込んでウフフあるあるという句も作ります。

シニア川柳やサラリーマン川柳など読んで楽しい句も世間にはいろいろ発表されており、時代は変わってきています。

川柳は頭の体操です。ボケてしまわないうちに川柳で頭をきたえておきましょう。楽しい川柳習慣を身につけて、明るく笑つて、老いていく脳をたいたいてやりましょう。五、七、五、指を折りつつ一句また一句良い句が出来たら新聞に投句したり毎日が楽しいです。



## 《第112号》

令和5年4月30日 発行

発行／岡山県 里庄町議会  
〒719-0398  
岡山県浅口郡里庄町  
TEL(0865)64-7217  
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.lg.jp

## ●あしがき

山々の若葉も映え、心地よい季節になりました。

コロナの感染も落ち着き、通常の生活にもどりつつあります。

今後も皆様のご健勝、ご多幸をお祈りします。

我々4人の編集委員も、任期最後になりました。

今後も、ご愛読をお願いします。

(小野)

編集委員

委員長: 小野光章 副委員長: 藤井典幸 委員: 仁科千鶴子 委員: 佐藤耕三

